

## 柏市自立支援協議会全体会 部会報告シート①

<b>【部会名】</b> 相談支援部会	<b>【担当】</b> 地域生活相談センター シヤル 中道 なおみ
<b>【開催報告】</b> 1 相談支援部会 (1) 第3回：12月22日（金） 対面・リモート併用による開催 ア 柏市障害者相談支援従事者人材育成指針案について ・部会の中で内容について意見交換を実施。令和6年度に一度完成させた指針を打ち出すが、今後も活用しつつ、内容についてブラッシュアップを行っていく イ 今年度の振り返り ・柏市相談支援事業所アンケート調査報告について意見交換を実施。専門性の高い相談を受ける事業所や支援を行う事業所が限られるため、柏市全体として検討が必要。また、事業所や相談員の考え方の違いによって相談件数の差があるため、部会で擦り合わせを行うとともに、アンケートを定期的に行う必要性がある。 ウ 任期満了に伴い、来年度の委員選出について ・部会長、副部会長、計画相談ワーキング長、拠点運協、指定相談事業所代表について、来期の候補者を選出し、本人の同意と部会内での承認を得た。高齢、児童部門からの委員選出については来年度の検討課題とする。 エ 来年度の活動について ○今年度の積み残し課題、継続検討議題について ・3年後のノーマライゼーションかしわプランに向けての取り組み方法や相談支援事業所のBCPについて、積み残し課題として検討していく。 ・児童の保護者の困りごとを検討する場やセルフプランをサポートする事業所の情報について周知を広めていく。 ・他部会で開催している研修等に相談員が参加できるよう、部会同士の連携や共催を検討していく。  2 相談支援連絡会 (1) 第3回：10月27日（金） 対面開催 事例検討・意見交換（グループワーク） ア 身体障害のある方の就労支援 ・就労継続支援B型事業所に就労できる能力はあるが、身辺自立に介助が必要で、介助条件を満たす事業所が少ないため、本人の希望する就労に繋がらないという課題から事例検討を実施。 イ 基本相談 ・基本相談とは何か、どこまでを基本相談として業務を行うかという課題から、相談員それぞれの考える基本相談について意見交換を実施。相談員の悩み、負担の軽減を図っていけるように人材育成指針等を活用していく。	

3 計画相談実務者ワーキングチーム

(1) 第3回：12月20日(水)

- ・要綱作成に取り組んできたが、会議体の役割、必要性について内容の見直しも含めて再度検討を行った。計画相談からの意見の抽出の場は必要であるが、その場を地区別研修や相談支援連絡会等に引き継ぐことが可能か、ワーキングの存続を含めて来年度以降、要検討とする。

【今後の活動予定】

1 相談支援連絡会

- (1) 第4回：1月26日(金) 対面による開催

<b>【部会名】</b> 暮らし部会	<b>【担当】</b> 暮らし部会長 平山 隆
<b>【開催報告】</b> 1 暮らし部会 (1) 第3回：1月15日（月）対面及びリモートによる開催予定 ア グループホーム等支援ワーカーについて ・現在検討中の「地域移行・生活相談支援コーディネート事業」について進捗の報告と意見交換を行う。 イ 生活介護事業所、地域活動支援センターの課題について ・生活介護事業所、地域活動支援センターの1つ1つの課題について、より具体化し検討を行う。 ・来年度も引き続き検討を予定。 ウ 来年度にむけて ・委員の任期満了に伴い、委員改選について検討を行う。 ・部会長、副部会長、拠点運営協議会暮らし部会代表の推薦者を選出し、本人の同意のもと承認を得る。  2 グループホーム等連絡会 (1) 第2回：11月22日（水） 対面及びリモートによる開催 ・グループホーム等連絡会、居宅支援連絡会、相談支援連絡会の委員を対象に、クオリティー訪問看護ステーション 杉田様を講師としてお招きし、「精神科訪問看護の利用について、グループホームとの連携」について等をお話いただいた。 ・質疑応答として、グループホームと訪問看護の連携について利用者のケアの共有が難しいので、共有ノート等の作成ができると良いといった意見があった。 ・また、グループホームから訪問看護にどのような情報を提供すべきかといった質問では、日常生活に関わる情報提供がありがたいといった回答があるなど、お互いの情報交換を行いながら、活発な意見交換ができた。  3 居宅支援連絡会 (1) 第2回：11月29日（水） 対面及びリモートによる開催 ・グループホーム等連絡会、居宅支援連絡会、相談支援連絡会の委員を対象に、生活クラブ風の村ケアプランセンター 柏田辺様を講師としてお招きし、「介護保険制度や介護サービス」についてお話いただいた。 ・介護保険のヘルパーと障害福祉サービスのヘルパーが連携することが難しいという意見が出た。 ・相談支援専門員とケアマネージャーや地域包括支援センターの連携を強化するためにはどうすればいいかという意見があった。	

**【今後の活動予定】**

今年度中の部会、連絡会はすべて終了。

<b>【部会名】</b> はたらく部会	<b>【担当】</b> ビック・ハート 柏 八木原 直彦
<b>【開催報告】</b> 1 はたらく部会 (1) 第3回：1月9日（火）対面・リモート併用による開催 ア 任期満了に伴い、来年度の委員選出について ・ 部会長、副部会長（一般就労連絡会長）、副部会長（福祉的就労連絡会長）、拠点運協について、委員を選出し部会内で承認を得た。 イ 今年度のまとめと来年度に向けて <来年度の議題として継続、及び新たに検討したい事項について> ○一般就労連絡会…3つの施策についてグレードアップした形で継続していく。 ・なんでも座談会…回数及び内容の再検討。 ・キックオフミーティング…柏市内の参画企業の充実について。 ・ジョブコーチ…制度について精査しながら利用する必要がある。 ○福祉的就労連絡会 ・グループワークを開催する回を設けたい。 ・柏市障害者就労施設等「で・あえるハンドブック」について…一般就労連絡会の事業所と合同で活用していきたい。協力企業を募るなど更なる検討をしていきたい。 ○はたらく部会 ・令和5年12月現在柏市内の法定雇用率達成企業割合は対前年比で0.17%上昇。雇用率は段階的に引きあがるが、企業の相談先として支援機関の認知度が低い。来年度は支援機関を企業に紹介する機会や方法を提案して、企業に知っていただく様に働きかける必要がある。 ・令和7年10月から実施予定の就労選択支援事業（仮）についての情報が欲しい。部会として情報収集と共有を行っていく。  2 一般就労連絡会 (1) 第3回：12月20日（水）対面及びリモートによる開催 ア 企業向け周知 キックオフミーティングについて ・今年度の目標は10社の企業に参加してもらうこと。またその10件の企業のうち2件の企業に求人を作っていただくこと。2名の採用に繋げること。 ・11月20日に第3回目を実施。11社が参加。企業には事前訪問し、困り事のヒアリング、就労移行支援事業所の見学や体験会を行い、関係性を構築した後、当日を迎える形式にした。 ・前半はセミナー形式、後半は参加した企業と実行委員が個別相談会を行い、企業の雇用開始までの困り事等の提案書を作りサポート。	

- ・現在2名の採用に向けて動いている。
- ・今回は従業員数43.5人以下の企業の方の参加があった(法律上で障害者雇用義務のない企業)。
- ・企業が就労移行や法人で取り組む作業内容とマッチした段階で、仕事の体験会を開催することができた。

#### イ 支援者のスキルアップ なんでも座談会

- ・過去2回開催。次回開催は1月17日実施予定。昨年からの2回と併せて計5回実施。目的としては、経験年数に関係なく日常業務や困り事、支援に関することをざくばらんに話せる交流の場を目指す。横の繋がりを作ってもらい、他の施設職員と接点を作ってもらおう等。
- ・10月25日の開催では総勢35名。多くの参加があった。
- ・意見として、社会資源を知る機会、事例検討会を開いてスキルアップ、計画相談事業所さんとも交流の場が欲しい等があった。
- ・第3回目はすでに締切をしているが、14名と激減。背景としてマンネリ化や前回との間隔が短い等が考えられる。

#### ウ ジョブコーチの今後の活用

- ・今年度の実績として7名(昨年4名一昨年2名)利用。
- ・ご期待に沿えなかった企業も2件あり(ジョブコーチ不足)。
- ・増えた背景として、特別支援学校やビック・ハート柏、ハローワーク松戸等関係機関に企業向けのチラシを配布したこと。キックオフミーティングの取組みでジョブコーチの必要性を話したことが考えられる。
- ・今年度の予算は使用済。ジョブコーチの需要はこれからも増えると考えられる。
- ・現在5事業所と契約締結。締結中の事業所には来年度も引き続き依頼予定。

### 3 福祉的就労連絡会

#### (1) 第3回：12月20日(水) 対面及びリモートによる開催

##### ア 農福連携の取組み J Aちば東葛 川島氏

##### ①ピーナッツの殻むき作業説明会報告

- ・作業説明会に12事業所集まり、現在9事業所が契約予定。木村ピーナッツ様が各事業所に訪問して説明済。順次、作業委託契約を行う。
- ・ピーナッツの殻むき作業は1キロ250円からの引き上げを検討している。
- ・これから取組みたい事業所に関しては、在庫を確認した上で検討が可能。

##### ②販売会のご案内

- ・月1回、第3火曜日午前10時～11時、J Aちば東葛にて野菜の直売会を開催している。事業所の出店可能。条件として、販売品は重複しないこと、またスペースが限られているので事前に要相談。
- ・現在の販売品は主に季節の野菜なので、手芸品等は重複しない。次回令和6年1月16日開催。

イ 合同販売会の開催

①かしわMONOづくりマルシェ in 道の駅しょうなんの活性化に向けて

- ・今年最後の開催は12月21日。令和6年1月に開催後、来年度についてアンケートを行いたい。グリーンフェスタのように共催という形で今後販売会を継続、検討していけたら良いのではないかな。
- ・平日の午前中の集客が難しい。火気厳禁、農作物の重複は避ける等の制限が多く、調整が難しかった。月に1回ではあるが、通年販売を体験していただき、どのような形で参画していくか検討する良い機会となるのではないかな。
- ・建物の中で常設販売ができるように積極的に交渉している。
- ・参加している事業所は基本継続。現在6事業所。
- ・周知の方法として連絡会で情報共有の他、関係機関にチラシを配布している。

②ラコルタ柏フェスティバル 11月11日、12日開催

- ・8事業所ほど参加。売上は良かった。
- ・3階の入口は集客があったが、1階部分は偏りがあったので、来年度実施の場合は工夫が必要。
- ・若い一般の参加者も多かった。今後若者を対象としたイベントをより多く開催したらどうか。イベント告知の方法も含め検討。

③豊四季台地域活動館

- ・12月19日開催。活気のある販売会となり食品は完売。
- ・工夫点として地域活動館の月間カレンダーに販売会の詳細を掲載した。また月1回の開催にして、参加できる事業所を増やし商品を多くした。

④柏市障害者就労施設等 で・あえる ハンドブックについて

- ・原則1事業所10冊配布。相談支援事業所にも配布。特別支援学校の反響が大きかった。QRコードも掲載し、順次動画もアップする。
- ・今後増刷も考慮している。予算を考慮して来年度は企業の広告を入れたらどうか。

ウ 暫定支給後の評価（アセスメント）様式について（柏市より）

- ・現状、就労移行支援、就労継続支援A型、自立訓練に関して、アセスメント様式を定めていないので、新規事業所は何を記入したら良いのか分からない。また市での判断が難しい場合は事業所に問い合わせ確認している。
- ・現在柏市は様式を持っていないので、現状の課題や指定の様式が必要かを含めて、意見交換をしていただきたい。

⇒添付書類については検討中。また指定の様式にするか、任意にするかも含めて検討。指定の様式案は簡素化されているので、別途個別支援計画は添付していただく可能性もある。決定後に市から報告。事業所の負担とならないよう方向性も含めて要検討。

【今後の活動予定】

1 はたらく部会 一般就労連絡会

- (1) 第3回なんでも座談会：1月17日（水）対面による開催

<b>【部会名】</b> こども部会	<b>【担当】</b> こども部会長 桐友学園 新福 麻由美
<b>【開催報告】</b> 1 こども部会 (1) 第3回：1月10日（水）対面及びリモートによる開催 ア 柏市からの情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢ごとの人口とそれに対する比率を知りたい。</li> <li>・保育所等訪問支援について、小学2年生以降に非定型理由書を提出して支給を受けている児童のデータを知りたい。</li> </ul> イ ノーマライゼーションかしわプラン 柱4について <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期ノーマライゼーションかしわプランの柱4の方針、施策等を障害福祉課よりご説明いただく。</li> <li>・目指す姿にある「インクルーシブ教育システム」という文言について。インクルージョンの推進という言葉が適切ではないか。</li> <li>・学齢期における支援の充実、切れ目のない支援体制の構築の点でも、保育所等訪問支援についての文言が必要ではないか。保育所等訪問支援は小学校以降も必要であるということ、実態調査を踏まえて検討していく必要がある。</li> <li>・毎回のノーマライゼーションかしわプランの検討において柱4の検討が後回しにされてしまい、こども部会では確定プランの報告会となっている。次回は、こども部会でも事前協議できるよう取り組んでほしい。</li> </ul> ウ 来年度の部会について <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の任期満了に伴い、委員改選について検討を行う。</li> <li>・部会長、副部会長、拠点運営協議会こども部会代表の推薦者を選出し、本人の同意のもと承認を得る。</li> </ul> エ その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援センターより、障がい児通所支援の支援内容に関するアンケート調査についての情報提供とお願い。</li> <li>・交流ワークショップについて情報提供。</li> </ul> 2 事業担当者会議 (1) 第2回：11月27日（月）対面及びリモートによる開催 ア 令和6年4月から作成が義務化される安全計画について情報提供。 イ 放課後等デイサービスと地域との交流について <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークで、お互いの事業所の取り組みについて情報交換。</li> <li>・各事業所で、地域の公園や商業施設への外出、地域の農家との交流などを行っている。普段の活動そのものが地域との交流になっている。</li> <li>・地域の中で暮らすという視点を忘れず活発に活動出来たら良い。</li> </ul>	



ウ 来年度の運営体制について

- ・地域、事業所の課題を主体的に考えていくために自主的な運営に切り替えていけたら。開催方法、議題、研修等についてグループワークで意見交換を行う。
- ・研修会の開催、地域ごとや障害種別ごとの小規模な話し合いがしたい等、様々な意見があげられた。

3 早期支援担当者会議

(1) 第2回：10月6日（金）対面による開催

- ・サポートファイルについて。医療情報を多く持つ児童が利用している事業所へサポートファイルの状況聞き取り、今後の方法、情報を共有した。
- ・サポートファイルは、エクセル版に作り直し、医療情報のシートに手を加えている。
- ・障害福祉課に協力依頼をし、受給者証更新時の通知文の中にサポートファイルの案内の同封。サポートファイルのQ&Aをホームページに掲載していく予定。

【今後の活動予定】

1 こども部会

今年度の部会は全て終了。

2 事業担当者会議

2月～3月に臨時開催を検討中。

3 早期支援担当者会議


(1) 第3回：2月9日（金） 対面で開催

4 児童発達支援連絡会

(1) 第2回：1月25日（木） 対面で研修開催

<p><b>【部会名】</b>          柏市障害者差別解消支援地域協議会          柏市権利擁護ネットワーク会議における          障害者に関する専門部会</p>	<p><b>【担当】</b>          障害福祉課 石月・鈴木</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 柏市障害者虐待防止サポートチーム事業（モデル試行）</p> <p>(1) NPO法人真ごころ：10月17日(火)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 「障害者虐待防止法について」「虐待防止策の検討や体制の整備」</li> <li>・講師 社会福祉法人フラット 理事長 林 晃弘氏</li> </ul> <p>(2) NPO法人はなみずき：11月15日(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 「障害者虐待防止法研修」</li> <li>・講師 千葉県虐待防止アドバイザー 市岡 武氏</li> </ul> <p>(3) グループホームまる：11月20日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 「障害者虐待防止法研修」</li> <li>・講師 千葉県虐待防止アドバイザー 市岡 武氏</li> </ul>	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>1 柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>(1) 第2回：令和6年2月6日(火) WEBによる開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容 「家族の声を聴く～家族が考える障害者権利擁護～」</li> <li>・講師 栃木県手をつなぐ育成会 会長 小島 幸子氏</li> </ul> <p>2 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会</p> <p>(1) 第2回：令和6年2月9日(金) 対面及びWEBによる開催</p> <p>3 東葛市町村虐待防止担当者連絡会</p> <p>(1) 第2回：令和6年2月22日(木) 対面による開催</p> <p>4 柏市障害者虐待防止サポートチーム事業（モデル試行）</p> <p>(1) 児童福祉事業所4法人：2～3月中に合同で実施予定</p>	

<b>【部会名】</b> 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会	<b>【担当】</b> 社会福祉法人ぶるーむ 後藤 慎也
<b>【開催報告】</b> 1 コアメンバー会議 (1) 第2回：12月6日(水) 対面による開催 ア ロードマップ作成の進捗について ・児童ワーキングについては、次回ワーキング会議にてアンケート結果を踏まえ、具体的な目標設定と取り組み内容を検討する。 ・成人ワーキングについては、事業所向けのアンケート結果を踏まえ、特定行為研修実施機関が主体となりフォローアップ研修を計画中。 イ 保育園での医ケア児受け入れについて ・市立保育園での医ケア児の受け入れが進んでいないと、市内の医療的ケアコーディネーターから指摘と相談があり、進捗及び今後の展望について確認する必要性について議論した。まずは障害福祉課から保育運営課に現状を確認することとした。	
<b>【今後の活動予定】</b> 1 コアメンバー会議 (1) 第3回：1月30日(火) 対面による開催 2 全体会 (2) 第2回：2月15日(木) 対面／オンライン併用による開催 3 児童ワーキング (3) 1月22日(月) 対面による開催	

<p><b>【部会名】</b> 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業</p>	<p><b>【担当】</b> たんぽぽセンター 上野</p>
<p><b>【開催報告】</b></p> <p>1 コア会議</p> <p>(1) 第4回：10月25日（水） 対面による開催 参加者：9名  ア 第3回実務者会議の振り返り  イ 代表者会議の検討  ウ 第4回実務者会議の検討</p> <p>(2) 第5回：12月27日（水） 対面による開催 参加者：11名  ア 第5回実務者会議の内容と役割の検討  イ 代表者会議について検討  ウ 今年度の振り返りと次年度の取り組みについて意見交換</p> <p>2 実務者会議</p> <p>(1) 第4回：11月22日（水）対面による開催 参加者：30名  ア 医療と地域の連携に関する協議②  手賀沼病院の協力の下、下記取り組みについての説明を頂く。  ①病院概要  ②急性期病棟の様子  ③入院相談時に確認している事  ④入院中、退院前、退院後の支援について  手賀沼病院の取り組みを知ることによって更に医療との連携を深める機会となった。  イ 手賀沼病デイケアの見学</p> <p>3 その他  普及啓発活動として、にも包括専用の SNS 等を開設した。  URL：<a href="https://kashiwa-s-nimo-hokatsu.blogspot.com/">https://kashiwa-s-nimo-hokatsu.blogspot.com/</a></p> 	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>1 コア会議</p> <p>(1) 第6回：2月28日（水）対面による開催</p> <p>2 実務者会議</p> <p>(1) 第5回：1月24日（水）対面による開催  ※柏市精神保健福祉支援者研修会との共催</p> <p>(2) 第6回：3月27日（水）対面による開催</p> <p>3 代表者会議</p> <p>(1) 2月8日（木） 開催方法：対面と ZOOM のハイブリッド形式</p>	

<b>【部会名】</b> 柏市地域生活支援拠点運営協議会	<b>【担当】</b> 障害福祉課 鈴木・小野
<b>【開催報告】</b> 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 (1) 第2回：令和6年1月17日（水）対面による開催 ア 令和5年度各地域生活支援拠点の活動報告について 各地域生活支援拠点より令和5年度の活動実績について報告を行った。各委員との意見交換の中で、相談実績については年々増加傾向にあり、児童の相談が増えている状況。 緊急・時間外の相談では、特に精神障害の方からの相談が全体の半数を占め、各地域生活支援拠点においても増加している状況。 緊急の受け入れ状況では、各地域生活支援拠点間で多少の増減はあるが、概ね対応できている。しかし、緊急の考え方については違いが見られるため、今後検討を要する。 人材育成や地域体制ネットワーク強化への取組については、各地域生活支援拠点において、様々な活動や取組を実施している。 イ 次期ノーマライゼーションかしわプランにおける地域生活支援拠点の役割について 次期ノーマライゼーションかしわプランにおいて、地域生活支援拠点に関わる部分である柱1及び柱2について共有した。これまでは地域生活支援拠点を市内に4箇所整備しネットワークを推進することが明記されてきた。 次期プランでは、各地域生活支援拠点が管轄する4つの地域において、これまで推進してきたネットワークを更に促進し活用することを重点目標としている。それを踏まえて、地域生活支援拠点の活躍を期待したいとの声が聞かれた。 ウ その他 特例介護給付費の「緊急その他やむを得ない場合の支給の取り扱い」については、国に確認をしたところ、現在の事務処理要領では法定代理受領の対象とはならないとの記載をしているが、次年度に法定代理受領も認める旨の内容で改訂予定であるとの回答を得たため、それに準じることとなることを共有した。	
<b>【今後の活動予定】</b> 令和5年度は終了。	